

◆ 目次 ◆

- 特集1 電動化/先進安全技術/コネクティッド化の進展に対応した部品メーカーの最新動向**
CASE対応動向、電動化では機電一体や電池増産、ADASではセンサーや情報処理等を軸に協業活発
- 特集2 海外事業強化に取り組む部品メーカーの最新動向**
米中に続く主要投資先としてインドへの関心高まる、電動化進展に伴い部品の海外生産も拡大
- 特集3 欧州メガサプライヤー6社の日本事業動向**
Autoliv / Bosch / Continental / Schaeffler / Valeo / ZF

第1章 日本自動車部品メーカーの経営概況

- ◇2018年度の日本自動車部品上位100社の売上高合計額は2.8%増の44.4兆円へ拡大
- ◇収益体質の強化、CASEへの対応等が課題
- ◇売上高ランキング上位100社 : デンソーが首位を維持、村田製作所が高水準で拡大継続
- ◇地域別売上高 : アジア・その他比率が低下
- ◇営業利益率 : 平均値は6%台に低下
- ◇R&D費比率 : 2018年度の平均値は4.3%
- ◇設備投資比率 : 2018年度の平均値は7.2%

第2章 総合システムサプライヤー	アイシン精機	デンソー	日立オートモティブシステムズ	マレリ
第3章 エンジン・エンジン部品メーカー	▷エンジン 愛知機械工業 大同メタル工業 TPR ファインシンター リケン	豊田自動織機 アーレステイ 大豊工業 ティラド マルヤス工業 リョービ	ケーヒン ダイヤモンド電機 日本特殊陶業 ミクニ	三板工業 椿本チエイン 日本ピストンリング 三ツ星ベルト
	▷吸排気部品 IHI 三恵技研工業 三菱重工業	アイシン高丘 三五 ユタカ技研	イビデン 日本ガイシ	キャタラー フタバ産業
第4章 駆動・伝動部品メーカー	▷駆動部品 アイシン・エイ・ダブリュ ユニバンス	IJTT	ジャトコ	明電舎
	▷伝動部品 エクセディ 日本精工	NTN バンドー化学	エフ・シー・シー 武蔵精密工業	GMB 柳河精機
第5章 制動部品メーカー	アイシン化工 TBK	曙ブレーキ工業 ニチリン	アドヴィックス 日信工業	白井国際産業 日清紡ホールディングス
第6章 懸架・操縦部品メーカー	エフテック 太平洋工業 ニッパツ	KYB 中央精機 富士機工	ジェイテクト 中央発條 プレス工業	ショーワ トビー工業 ヨロズ
第7章 タイヤメーカー	住友ゴム工業	TOYO TIRE	ブリヂストン	横浜ゴム
第8章 電装・照明/電子・制御部品メーカー	▷電装・照明部品 市光工業 東海理化 矢崎総業	小糸製作所 日本精機 ユーシン	スタンレー電気 古河電気工業	住友電気工業・住友電装 ミツバ
	▷電子・制御 アルプスアルパイン JVCケンウッド ニチコン パイオニア ルネサス エレクトロニクス	クラリオン TDK 日本ケミコン パナソニック ローム	ジーエス・ユアサ デンソーテン 日本電気 三菱電機	コーポレーション 東芝 日本電産 村田製作所
第9章 空調・安全装備メーカー	▷空調 サンデンホールディングス	小倉クラッチ		
	▷安全 芦森工業	ダイセル	日本化薬	
第10章 シート・内装部品メーカー	▷シート タチエス	テイ・エス テック	トヨタ紡織	
	▷内装部品 イノアックコーポレーション セーレン	河西工業 ダイキョーニシカワ	共和レザー 豊田合成	小島プレス工業
第11章 外装部品・車体機構部品メーカー	▷外装部品 エイチワン 丸順	ジーテクト 村上開明堂	東プレ 八千代工業	豊田鉄工 ユニプレス
	▷車体機構部品 今仙電機製作所 シロキ工業 ハイレックスコーポレーション	イーグル工業 西川ゴム工業	鬼怒川ゴム工業 ニフコ 不二越	サンコール 三井金属鉱業
第12章 車体材料メーカー	▷ガラス AGC	セントラル硝子	日本板硝子	
	▷鋼材・金属 愛知製鋼 日本製鉄	神戸製鋼所 日立金属	JFEスチール UACJ	大同特殊鋼
	▷塗料 関西ペイント	日本特殊塗料	信越化学工業	住友理工
	▷化学材・その他 旭化成 帝人	NOK 東レ	三菱ケミカルホールディングス	
第13章 設計・設備・金型メーカー	オークマ 三井ハイテック	ダイフク 安川電機	DMG森精機 ヤマザキマザック	ファナック

お申し込みはフォーインのホームページからお願いします



〒464-0025 愛知県名古屋市千種区桜が丘292
Tel:052-789-1101 Fax:052-789-1147
E-mail:info@fourin.jp https://www.fourin.jp

*フォーインでは調査報告書のご採用可否の検討用として、お客様のご要望に応じて実際の調査報告書をお送りすることも可能です。ご希望の際は、右記までお問い合わせください。

発刊のご案内

お申し込みはフォーインのホームページからお願いします

日本自動車部品メーカー158社の最新動向を報告!!

2019

日本自動車部品産業年鑑

CASEを中心とした100年に1度の大変革の中、新たな価値の提案が成長の鍵

■ 発刊:2019年10月31日 ■ 体裁:A4判、427頁 ■ 価格:150,000円+税 国内送料込



- ◆ 環境・安全・コネクティッドを中心に部品各社の最新の事業動向を調査!!
- ◆ 新たな成長市場を求め推進する海外での生産・開発投資の最新動向を分析!!
- ◆ 長期的な競争力維持・発展に向けた合従連衡や業界再編の動向をレポート!!
- ◆ システムサプライヤーから材料/設備メーカーまで158社の最新動向を収録!!
- ◆ 企業編は明電舎やローム、信越化学工業、ファインシンター等を新規に掲載!!
- ◆ Autolivを新たに加えた欧州メガサプライヤー6社の日本事業をレポート!!
- ◆ 売上高、営業利益率、R&D比率等を分野別に取りまとめた表・グラフを掲載!!
- ◆ CASEへの対応方針に関する部品各社へのヒアリングをコンパクトに収録!!

自動車メーカーによるCASEを軸とした技術開発競争は年々加速しており、日本の部品メーカーにとっても、スピード感があり、かつ柔軟な対応力が受注獲得における大きなポイントとなっています。事業規模の大きいシステムサプライヤーにおいても単独でのCASEへの全方位での対応は困難であり、競合関係や資本関係の枠組みを超えた協業だけでなく、業種の枠組みを超えた協業関係を構築していかなければ、高度化・複雑化する自動車メーカーからのニーズへの対応が困難な状況となっています。中堅部品メーカーにおいてもCASE対応が迫られる中、自らの経営資源を見直して新たな成長機会を探る動きや、他社との協業を通じて相互の強みを持ち寄り、新たな価値を創出して提案していくことが求められております。また海外展開においては、現状では米中の2大市場に投資する動きが目立つ一方で、次なる成長市場が見えづらく、各社とも長期的な成長戦略を描きづらい状況となっております。そうした中で、米中欧の3大市場に対抗しうる成長ポテンシャルを持つインド市場への注目度が、日系メーカーの中で高まりつつあります。

『日本自動車部品産業年鑑 2019』では、部品各社の経営戦略 / 業績 / 事業体制 / 最近の動向など基礎情報を明瞭な2ページ見開きのレイアウトでまとめ、大変革時代の中での各社の多様な成長戦略をレポートいたします。特集では、CASEに関連した各社独自の価値提供への取り組みや、次なる成長市場が見えづらいうちでの各社の海外展開動向、更にはFOURINが直近1年間で行った部品各社へのヒアリングから、CASEに関する現場レベルでの率直な声も分野別/業種別に取りまとめました。

先行き不透明な大変革時代の中、中長期を見据えた力強い事業戦略を策定する上で、本書が多様化する経営戦略を俯瞰することに役立ち、業界トレンドの把握と自他の比較を行う一助となることを祈念いたします。本案内書をご高覧頂き、関係部署とも相談の上、ご採用賜りますよう、お願い申し上げます。

日本自動車部品メーカー各社の最新製品 (例)



<日本電産:E-Axle「Ni70F」シリーズ>



<日本精機:液晶バックライト制御による薄型メーター>



<ダイキョーニシカワ:樹脂製バックドア>



<デンソー:デジタルアウターミラーECU>



<日立オートモティブシステムズ:夜間の歩行者検知機能付ステレオカメラ>



<三菱ケミカルホールディングス:炭素繊維>

(各社広報資料より)



https://www.fourin.jp

CASEにおける部品各社の最新対応動向を報告!!

直近1年間でヒアリングした部品各社のCASEへの生の声を収録!!

欧州メガサプライヤーの日本事業レポートにAutolivを新規掲載!!

特集①：CASE 対応動向、電動化では機電一体や電池増産、ADAS ではセンサーや情報処理等を軸に協業活発

自動車メーカーによるCASE 技術開発競争は年々加速しており、部品メーカーにとっては従来以上に大きな課題となっている。CASE 対応動向、電動化では機電一体や電池増産、ADAS ではセンサーや情報処理等を軸に協業活発

自動車メーカーによるCASE 技術開発競争は年々加速しており、部品メーカーにとっては従来以上に大きな課題となっている。CASE 対応動向、電動化では機電一体や電池増産、ADAS ではセンサーや情報処理等を軸に協業活発

【日本自動車部品メーカー、電動化の進展に対応した最近の対応動向】

Table with 3 columns: 部品別 (部品別), 概要 (概要), 詳細 (詳細). Rows include Powertrain, Chassis, Safety, Body, Electronics, etc.

【日本、CASE への対応に関する自動車部品メーカー各社(内資系)へのヒアリング(2019年度)】

CASE への対応に関する自動車部品メーカー各社(内資系)へのヒアリング(2019年度)。CASE への対応に関する自動車部品メーカー各社(内資系)へのヒアリング(2019年度)

CASE への対応に関する自動車部品メーカー各社(内資系)へのヒアリング(2019年度)。CASE への対応に関する自動車部品メーカー各社(内資系)へのヒアリング(2019年度)

【Autoliv, 日本における事業展開の概要】

Autoliv, 日本における事業展開の概要。Autoliv, 日本における事業展開の概要

【Autoliv, 日本における事業展開の概要】

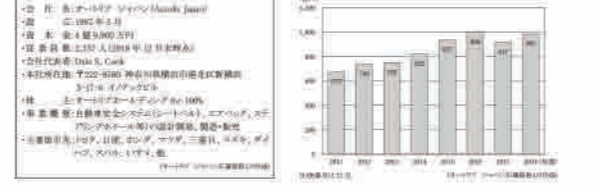
Autoliv, 日本における事業展開の概要。Autoliv, 日本における事業展開の概要

Autoliv, 日系メーカー向け売上高が近年上昇、関係強化を目指し日本国内での研究開発体制を強化

Autoliv, 日系メーカー向け売上高が近年上昇、関係強化を目指し日本国内での研究開発体制を強化

Autoliv, 日系メーカー向け売上高が近年上昇、関係強化を目指し日本国内での研究開発体制を強化

【Autoliv, 日本における事業展開の概要】

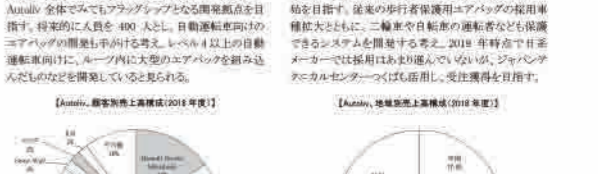


【Autoliv, 日本における事業展開の概要】

Autoliv, 日本における事業展開の概要。Autoliv, 日本における事業展開の概要

Autoliv, 日系メーカー向け売上高が近年上昇、関係強化を目指し日本国内での研究開発体制を強化

Autoliv, 日系メーカー向け売上高が近年上昇、関係強化を目指し日本国内での研究開発体制を強化



【Autoliv, 地域別売上構成(2018年度)】

Autoliv, 地域別売上構成(2018年度)。Autoliv, 地域別売上構成(2018年度)

【Autoliv, 日本における事業展開の概要】

Autoliv, 日本における事業展開の概要。Autoliv, 日本における事業展開の概要

営業利益率・R&D費比率等を部品分野ごとに取まとめ競争関係を俯瞰!!

表1 日本自動車部品メーカーの経営概況

表1 日本自動車部品メーカーの経営概況。主要自動車部品メーカーの2018年度のR&D費の対売上高比率(一定基準値を含む)の平均値は前年

【各分野別日本自動車部品メーカーのR&D費対売上高比率(2018年度)】

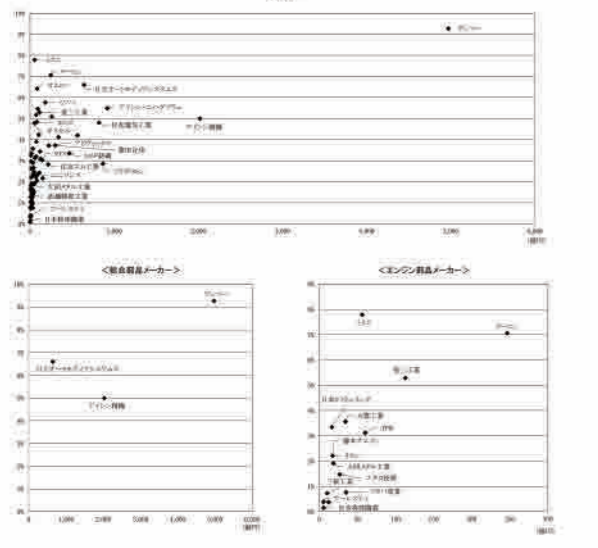
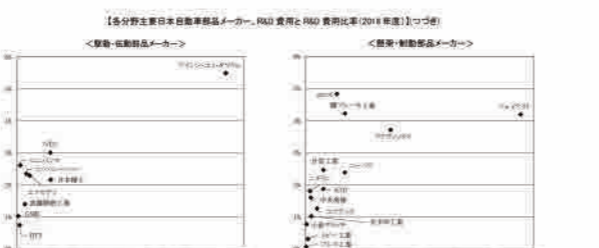
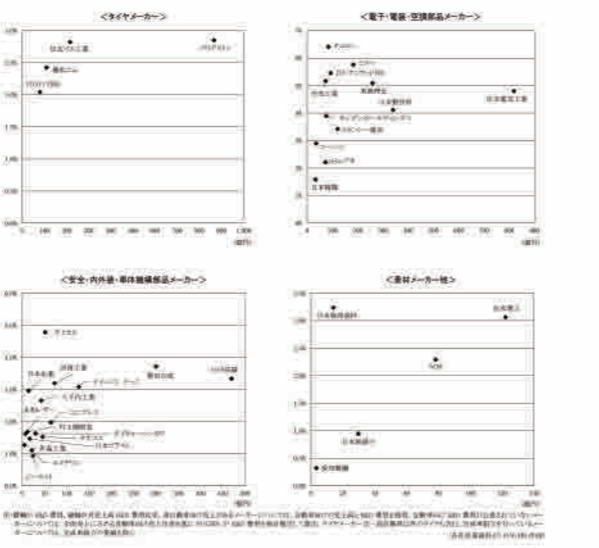


表2 R&D費比率



【各分野別日本自動車部品メーカーのR&D費対売上高比率(2018年度)】



部品メーカーの経営状況を明瞭にまとめた見開き2頁の分析では新たにロームや信越化学工業などを追加!!

表3 部品メーカーの経営概況

表3 部品メーカーの経営概況。主要自動車部品メーカーの2018年度のR&D費の対売上高比率(一定基準値を含む)の平均値は前年

【各分野別日本自動車部品メーカーのR&D費対売上高比率(2018年度)】

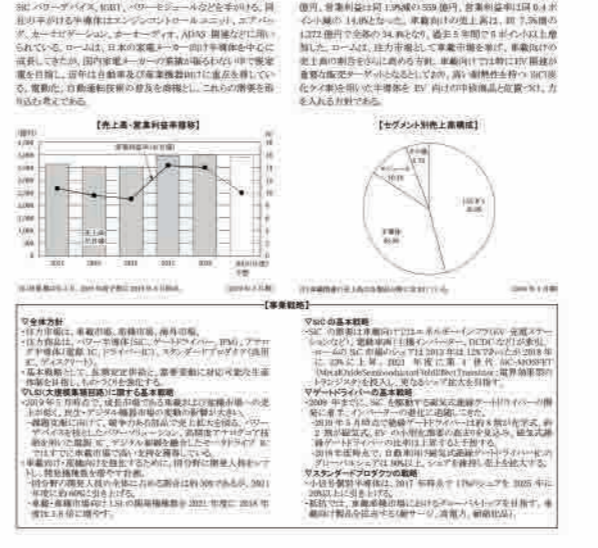


表4 部品メーカーの経営概況

表4 部品メーカーの経営概況。主要自動車部品メーカーの2018年度のR&D費の対売上高比率(一定基準値を含む)の平均値は前年

【各分野別日本自動車部品メーカーのR&D費対売上高比率(2018年度)】

